

INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



財団法人 上原記念生命科学財団 平成13年度 研究助成および海外留学助成等の候補者募集

1. 研究助成募集要項

(1) 助成対象課題 生命科学, 特に健康の増進, 疾病の予防および治療に関する次の諸分野の研究

(イ) 栄養学, (ロ) 薬学一般, (ハ) 基礎および臨床医学 (東洋医学を含む), (ニ) 社会医学 (体力医学を含む)

(2) 助成対象者 上記研究に意欲的に従事する日本在住の研究者で, 大学の場合は学長 (総合大学は学部長) に推薦を受けた者とし, 当財団の理事会が承認した研究機関の場合は, その代表責任者の推薦を受けた者とする。

(3) 助成の種類および金額

(イ) 研究奨励金

(若手研究者で昭和39年4月1日以降出生の者, 但し医学部等, 6年制の学部卒業者は昭和37年4月1日以降出生の者)

1件 200万円, 助成件数 80件

(ロ) 研究助成金

(年齢不問, 単独研究でも共同研究でもよい)

1件 500万円, 助成件数 70件

(4) 助成金の使途 研究に要する物品の購入その他研究推進に必要な費用とする。

2. 海外留学助成(上原フェロースhip)募集要項

(1) 助成対象者 研究助成と同じ課題の研究を行う研究者で次の条件を満たす者とする。

(イ) 研究助成と同様に推薦者の推薦を受けた者

(ロ) 博士号を有するか, またはそれと同等以上の研究業績を有する者

(ハ) 原則として平成14年1月以降新たに海外留学に出立する者

(ニ) 1年間以上の海外留学を受け入れる大学等学術機関が決定している者

(2) 助成の種類及び金額

(イ) ポストドクトラル フェロースhip

昭和43年4月1日以降出生の者で, 助成期間中無収入の者

1件 340万円以内, 助成件数 約40件

(ロ) リサーチ フェロースhip

研究奨励金と同じ若手研究者

1件 340万円以内の必要額, 助成件数 約55件

3. 応募方法その他(研究助成および海外留学助成共通)

(1) 応募方法 所定の用紙に記入して, 当財団へ送付する。

(2) 応募の締切 平成13年9月10日

(3) 選考方法 選考委員会で選考し, 理事会・評議員会で決定する。

(4) 採否の通知 平成14年1月中旬に応募者宛通知する。

(5) 助成金の交付 平成14年1~3月間に贈呈する。

4. その他

国際シンポジウム開催に対する助成, 申込締切 平成13年9月10日

5. 申請書提出先および連絡先

〒171 0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号
財団法人 上原記念生命科学財団宛



第10回（平成13年度）木原記念財団学術賞の候補者推薦について（ご依頼）

推薦等要項

〔推薦の対象〕

1. 推薦の対象は、最近において生命科学の分野で優れた独創的研究を行っている国内の研究者で、50才以下（9月30日締切日現在）の者とします。

ただし、推薦の研究課題で他の著名な賞を受けていないこととします。

〔推薦の依頼先〕

2. 推薦は生命科学に関する学会等に依頼していただきます。

〔推薦の方法〕

3(1)推薦者は学会の代表者等とし、1推薦者からの推薦は原則として1件とします。

(2)推薦は所定の推薦書（別添）に必要事項を記入し、当財団宛に1部送付願います。

(3)推薦の締切日は平成13年9月30日とします。（学会締切：平成13年9月20日）

〔選考方法及び結果〕

4(1)受賞者は、当財団の選考委員会で候補者を選考し、理事会にて決定します。

(2)選考結果は推薦者及び受賞決定者に通知します。

(3)選考結果は公表します。

〔木原記念財団学術賞の内容〕

5(1)本賞は毎年原則として1件に贈呈します。

(2)本賞は賞状、記念碑及び賞金200万円を贈呈します。

参考 これまでの受賞者は次の方々です。

第1回 野村大成 大阪大学教授

研究課題：発癌および癌奇形性変異の後代への伝達

第2回 浅島 誠 東京大学教授

研究課題：両生類の胚誘導と細胞分化に関する

る研究

第3回 五条堀孝 国立遺伝学研究所教授

研究課題：病原性ウイルスの起源と進化に関する研究

第4回 岡田典弘 東京工業大学教授

研究課題：ゲノムの多様性の獲得機構とその進化的意義に関する研究

第5回 廣近洋彦 農業生物資源研究所分子遺伝部ゲノム動態研究室長

研究課題：植物トランスポソンの分子遺伝学的研究

第6回 西田育巧 名古屋大学大学院理学研究科教授

研究課題：ショウジョウバエを用いたがん遺伝子の研究

第7回 石浦正寛 名古屋大学大学院理学研究科助教授

近藤孝男 名古屋大学大学院理学研究科教授

研究課題：藍色細菌（藍藻）の生物時計の分子生物学的研究

第8回 島本 功 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科教授

研究課題：イネの分子遺伝学的ならびに分子育種学的研究

第9回 松本邦弘 名古屋大学大学院理学研究科教授

研究課題：モデル生物を用いた増殖・分化制御機構の分子遺伝学的研究

〔推薦書提出，連絡先〕

財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

〒244 0813 横浜市戸塚区舞岡町641 12

TEL. 045 825 3487 FAX. 045 825 3307



第21回医療情報学連合大会

1. 学会の名称
第21回医療情報学連合大会
(第2回日本医療情報学会学術大会)
2. 主催機関及び責任者名
第21回医療情報学連合大会
大会会長 稲田 紘(東京大学大学院工学系研
究科精密機械工学専攻)
3. 会期
2001年(平成13年)11月26日(月)~28日(水)
4. 会場
東京ファッションタウンビル
(東京国際貿易センター)
東京都江東区有明3丁目1番
5. 学会の目的と開催意義
この大会は、医療情報学に関する基礎的研究か
ら臨床応用まで、医療分野における情報利用の研

究討論の場として開催して参りました・特に本年は、「ITによる新世紀の医療」をメインテーマに掲げ、21世紀の幕開けを意識した大会運営を企画しております。また、日中韓共同シンポジウムも同時期に開催し、相互参加を促進するよう努めており、参加予定者は全体で3000名を見込んでおります。

学術講演会のみならず企業展示会にも力を注いでおります。特に本年は、両者を車の車輪として位置づけ、メインテーマに沿った有機的な展示を企画しております。さらに、医薬品・検査試薬など薬剤に関する情報関連技術に関しましても、医師のみならず病院薬剤師・調剤薬局薬剤師・医療情報提供者(MR)・製薬会社研究者などの参加も多数あり、広く情報交換や知識交流にも寄与することを目的としております。



第22回バイオメカニズム学術講演会

日時：2001年11月23日(金・祝), 24日(土)
会場：
慶應義塾大学理工学部矢上キャンパス・創想館
〒223 8522
神奈川県横浜市港北区日吉3 14 1
学術講演会事務局：
慶應義塾大学理工学部機械工学科 山崎信寿

〒223 8522
横浜市港北区日吉3 14 1
Tel. 045 566 1524 Fax. 045 562 2601
E-mail: Sobim2001@mech.keio.ac.jp
ホームページ：http://www.yamazaki.mech.keio.ac.jp/sobim2001



第17回疲労研究会のお知らせ並びに一般口演の演題募集

第17回疲労研究会を下記の通り仙台市にて開催いたします。奮って御参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：平成13年9月18日(火)9:00~

場所：仙台国際ホテル
仙台市青葉区中央4 6 1
TEL：022(268)1111

予定プログラム：

・特別講演「いわゆるエコノミークラス症候群の現状と問題点」

津久井一平先生

((財)航空医学研究センター 所長)

・シンポジウム「スポーツにおける疲労とコンディショニング」

司会：勝村俊仁(東京医科大学衛生学公衆衛生学教室 主任教授)

1. 持久運動における精神的・身体的疲労について

小田切優子(東京医科大学衛生学公衆衛生学教室 講師)

2. 大学駅伝選手における疲労とその対策

別府健至(日本体育大学スポーツ局スポーツ専門職 駅伝部監督)

3. オリンピックメダリストの栄養サポートについて

金子ひろみ(管理栄養士)

・一般口演

一般口演の演題募集について

疲労並びに休養等に関する研究演題を広く募集いたします。平成13年7月31日(火)までに、

演題名、氏名(演者に)、所属を記載した口演要旨(400字程度)を下記事務局までお送り下さい。口演時間は、1演題につき質疑応答を含めて約20分の予定です。研究成果は、後日まとめていただき、当研究会誌「疲労と休養の科学」第17巻に掲載いたしますので、あらかじめご了承下さい。なお、申し込み演題が多数の場合、演題の採否は事務局にて行わせていただきます。

一般参加について

一般参加に関する手続はありません。参加費は、年会費として会誌代(「疲労と休養の科学」第17巻：平成14年発行)を含めて5,000円です。研究会の当日、受付にて申し受けます。

お問い合わせは、下記事務局までお願い致します。

事務局

〒160 8402 東京都新宿区新宿6 1 1

東京医科大学 衛生学公衆衛生学教室

疲労研究会事務局

電話 03 3351 6141 内線238

FAX 03 3353 0162



第6回グリア研究会

日時：平成13年12月8日(土)

10:00~17:00(予定)

会場：オーバルホール

(大阪市北区梅田3 4 5)

会長：大阪大学大学院医学系研究科神経機能制御外科学講座 教授 吉峰俊樹

プログラム：

1. 一般演題(口演,ポスター)

(募集中 締め切り：平成13年8月31日)

2. 特別講演

1. 愛媛大学医学部脳神経外科教授 大西丘倫

2. 熊本大学発生病学研究センター転写制御分野教授 田賀哲也

会費：1,000円

第6回グリア研究会事務局：

大阪大学大学院医学系研究科神経機能制御外科学講座

担当：丸野元彦，泉本修一

TEL: 06-6879-3652 FAX: 06-6879-3659

E-mail: glia6@nsurg.med.osaka-u.ac.jp

共催：グリア研究会，田辺製薬株式会社

演題の応募等お問い合わせは研究会事務局までお願い致します。なお、討論を深めて頂くために、ポスターによる発表とさせて頂く場合もございます。予めご了承下さい。